

# 清泉女子大学人文科学研究所規程

(名称) 第一条 本研究所以、清泉女子大学（以下「本学」という。）人文科学研究所と称する。

(目的) 第二条 本研究所以は、人間にかかわるすべての現象を包括的かつ総合的に研究することを目的とする。

(活動) 第三条 本研究所以は、目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 研究会・公開講座の開催
- 2 『人文科学研究所紀要』及び『清泉文苑』の刊行
- 3 関係諸団体との交流
- 4 その他必要と認める活動

(所員) 第四条 本研究所以の所員は、上記の目的に賛同する

本学専任教員をもつて構成する。

② 必要がある場合には、本研究所以に専任教員を置くことができる。

③ 本研究所以に専任教員が置かれている場合、その教員は本研究所以の所員となる。

④ 必要がある場合には、客員所員を置くことができる。なお、客員所員の任期は一年とし、年度途中で客員所員を置く場合は、当該年度末までとする。

⑤ 客員所員は、人文科学研究所運営委員会が学長の承認を得て、これを決定する。

(所長)

第五条 本研究所以に所長を置く。

② 所長は、学長がこれを任命する。

③ 所長は、本研究所以を代表し統括する。

(運営委員)

第六条 本研究所以に運営委員五名を置く。

② 運営委員は、所員の互選による。

③ 客員所員は運営委員に含まないものとする。

(任期) 第七条 所長及び運営委員の任期は、二年とする。ただし、再任を妨げない。

(事務室) 第八条 本研究所以に事務室を置く。

② 事務室の職員は、学長の指定する本学の職員が兼務することとし、必要がある場合は、専任教員を置くことができる。

(経理) 第九条 本研究所以の経理は、学校法人清泉女子大学に属し、その年度予算及び決算は、理事会の承認を得なければならない。

附 則 一 この規程は、昭和五十三年四月一日より施行する。

附 則 二 この規程の改正は、昭和五十八年四月一日より施行する。

附 則 三 この規程の改正は、昭和六十二年四月一日より施行する。

附 則 四 この規程の改正は、平成五年四月一日より施行する。

附 則 五 この規程の改正は、平成十五年四月一日より施行する。

附 則 六 この規程の改正は、平成十七年十月一日より施行する。

附 則 七 この規程の改正は、平成二十四年十二月一日より施行する。

## 編集委員

姫野敦子	今野真二
ブルース・アレン	篠原厚子
大野俊	藤本猛
木村琢也	松井ケティ
米谷郁子	山本勉

## 清泉女子大学

### 人文科学研究所紀要

第三十九号

平成三十年三月三十一日 発行

### 編集・発行

東京都品川区東五反田三十六―三十一  
清泉女子大学人文科学研究所

代表者 高野 禎 子

電話(〇三)三四四七―五五五一(代)

### 印刷所

東京都港区海岸一―九―十八

丸善雄松堂株式会社